

第5回 オレンジゆずるバス再編検討分科会における  
利用促進に関する意見交換の結果について

◆運行計画について

◆複数便が発着する停留所の運行ダイヤ

運行ダイヤについて	
A	<p>結果：案1で良い。ただし、どの方面行きを8:30に合わせるかは調整が必要。</p> <p>意見：予約外利用者の受付時間に合わせる考え方で良い。西行きを8:30に合わせると東行きは8:30に合わなくなるため、実際の方向別利用者数を考慮して調整すべき。</p>
B	<p>結果：案1で良い。</p> <p>意見：増便は画期的であり、利便性の向上が見込める。増便の運行ルートを見る限り、乗降客数の高いバス停（箕面駅、箕面萱野駅、市立病院）以外で降車する人は少ないかもしれない。そのため、増便の一部を乗降客数の高いバス停だけに停車する急行便として運行してはどうか。</p>
C	<p>結果：どちらの案でも問題ない。</p> <p>意見：どちらの案でも大きな問題はない。利用者のメリットを考えると案1の方が便利である。一方で、乗り遅れに対応している方が便利との意見もあり、その点は案2の方が便利である。</p>
D	<p>結果：案1で良い。</p> <p>意見：基本的に運行ダイヤに合わせて予約や移動をしているので問題はない。</p>
E	<p>結果：案1で良い。ただし、集中させる時間帯は要検討。</p> <p>意見：市立病院の受付時間に合わせて着便を集中させるのは良いが、診察前に血液検査などの事前検査が必要となるため、市立病院の受付開始8:30に合わせるのではなく、事前検査の時間を踏まえた8:15着として考えた方が良いのではないかと。また、予約外は先着順で受付することに配慮し、全ルートを同時刻に到着させる設定できることが望ましい。</p>

分科会の結論	案1（集中型）で良い。
ご意見	<p>受付開始時間の8:30に集中することで病院を利用する方が便利になるならば案1でよい。</p> <p>ただし、どちら方面行を8:30に集中させるのかは、利用状況を見て検討すべきとの意見がある。</p> <p>その他、検査等によって8:30より早く着く必要がある場合もあるので、病院の利用状況をもう少し見るべきとの意見もある。</p> <p>また、集中・分散に関わらず、運行ダイヤに合わせて生活を定めるので、どちらでも問題ないという意見も見られる。</p>

## ◆利用促進策について

### ◆みんなで「支える」、「支え合う」利用促進について

各班の意見	どのような手法がよいか？
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 個人的なサポーター（ファンクラブ）を作り、オレンジゆずるバスを盛り上げる。</li><li>・ 市のみでなく、様々な組織や団体が発行する広報誌などに掲載してもらい、より多くの人に知ってもらう。</li><li>・ 祭りやイベントの実施主体から、オレンジゆずるバスを利用してもらうよう呼びかけし、利用者にイベント実施主体から特典を与える。</li></ul>
B	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市の職員が通勤でゆずるバスを利用すればいい。</li><li>・ 日祝が平日と同じルートになることで利用者は増えると思う（子育て世代の利用者増が期待できる）。</li></ul>
C	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 見やすいマップの作成、配布。</li><li>・ 現在の時刻表が見にくいので改善すべき。</li></ul>
D	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者がメインのユーザーとなっているため、免許返納とオレンジゆずるバスの利用促進を一体的に進めていく。</li><li>・ 無料で参加できるイベント等の実施。</li></ul>
E	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者の運賃を100円から150円に変更することも検討すべき。そのためにも、オレンジゆずるバスの収支状況を市民に分かりやすく継続的に情報発信すべき。</li><li>・ イベント等を通じて、市民とオレンジゆずるバスとの関わりが継続される取組みでなければ効果は得られない。</li><li>・ 自治会の高齢化など社会情勢の変化が大きく、従来の発想とは異なる取組みが必要。</li></ul>

#### 分科会の 結論・意見

免許返納とオレンジゆずるバスの利用促進の組み合わせや、周辺店舗との連携等の意見がみられる。また、情報発信の強化も必要との意見がみられる。  
祭りやイベントの実施主体などから利用促進を呼びかけたり、市や協議会のみでなく様々な団体や組織の広報誌に取り上げてもらう、といった意見もみられる。

## ◆利用促進策について

### ◆オレンジゆるバスサポーター店について

各班の意見	どのような店がよいか？	どのような特典があれば魅力的か？	どのようなPRをすれば効果的か？
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お店の種類は限定せず、スタンプラリーなどを利用して複数店舗を回れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在の乗車日限定の特典ではなく、いつでも使えるようにポイント制とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バス車内での広告やアナウンス</li> <li>• お店のカテゴリ別のマップ作成</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業種を問わない。基本的には登録数を増やす。</li> <li>• 今後は、船場・萱野地域のお店を積極的に増やすのが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バスを利用したかたがメリットを受ける仕組み。</li> <li>• 小さなお店応援チケットや、まごころ応援カードとの連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ステッカーを貼る、ネット検索で上位に出てくるようにするなど、市民にサポーター店を認知してもらう仕組みを作るべき。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住宅展示場やバレーボールチーム等もサポーターに組み込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• イベントでのグッズ配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バス停でのPR、周辺店舗紹介。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スーパー（イオン等）</li> <li>• 滝道のお土産店</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サポーター店のポイント付与</li> <li>• カード・キャッシュレス決済サービス等のポイント2倍</li> <li>• 商品の割引（5%程度）</li> <li>• 高齢者向け買物サポートサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 店前にサポーター登録店とわかるのぼり・旗を掲げて視覚効果に訴える。</li> <li>• 飲酒後の、車を運転できないかたへ夜間のバス利用をPR。</li> </ul>
E	意見なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 芸能人に会えるなど市民が興味を持つ特典を継続的に取組むべき。</li> <li>• 利用条件を設定せず、利用しやすい特典を考えるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多くの市民がバスサポーター店知らない。拠点施設での広告・もみじだより・SNSを活用して、継続的にPRすべき。</li> <li>• 持ち運び可能なものへ掲載すると良いのではないか。</li> </ul>

#### 分科会の結論・意見

既存の登録店よりも幅広い業種がバスサポーター店になってほしいとの意見が多くみられる。特典として、既存の乗車証明による当日のみの特典ではなく、ポイント等の継続的な特典が良いのではないかと意見がみられる。

認知度が低いことがサポーター店制度の課題であることから、バス車内やバス停広告として周辺店舗を紹介する形でサポーター店制度や店舗自体をPRすべきとの意見が多くみられる。

## ◆利用促進策について

### ◆子どもを対象とした利用促進策

各班の意見	どのような手法がよいか？	実施する期間は？
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車内での企画（缶バッジ等のプレゼント、滝ノ道ゆずるとの写真撮影）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み期間</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>滝ノ道ゆずるグッズ等の配布。</li> <li>バスの乗り方イベントの開催等。</li> <li>休日のバスの貸し切りを可能にする。（部活動等での利用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休暇期間</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントやプレゼント。</li> <li>既存の子ども向けイベントにオレンジゆずるバスも参加する。</li> <li>滝ノ道ゆずるのマスコットをバスに乗せるなどのイベント。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週末。</li> <li>夏休みや長期休暇にグッズのプレゼントを行う。</li> <li>ハロウィン等</li> </ul>
D	<p>A) バスでしか行けない遊び場までオレンジゆずるバスを運行する。</p> <p>B) スタンプラリーを実施する。</p> <p>C) 学生サポートとして子ども無料デー/タイムを実施。</p>	<p>A) 土日祝</p> <p>B) 学校の長期休暇期間</p> <p>C) 登下校時間帯（小学生～大学生）</p>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生以下は常に無料にすべき。</li> <li>年配者が乗車マナーを教える社会勉強の場とする。</li> <li>子どもだけでオレンジゆずるバスを使ってサポーター店にお使いするイベント。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春夏秋冬（年4回）など継続してイベント開催</li> </ul>

### 分科会の 結論・意見

子どもや親子での利用が増えると考えられる週末や長期休暇に実施すべきといった意見が多くみられる。その他、ハロウィン等のイベントに合わせての実施との意見もみられる。グッズ等の配布を合わせて行うことで、より効果的に子どもの利用促進を図れるのではないかとの意見が多くみられる。また、スタンプラリー等のイベントと組み合わせるといった意見もみられる。